

か ど ひいらぎ

香童の校

No. 20

壬生町立稲葉小学校 学校便り

平成29年12月8日

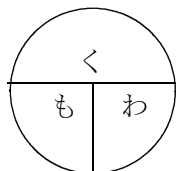
文責：校長 廣田 昌英

ビンゴ！

2年生は九九と奮闘中です。その日は中山先生と関口先生と今泉先生の3人がかりで7の段を教えていました。その方法にビックリ、すごいアイディアです。7の段の答えを3×3のマスに子ども達が自由に書き込み、例えば関口先生が 7×5 のカードを見せたら、その答である「35」のマスを消していくのです。そして、縦横斜めのいずれかがそろったら、ビンゴ！です。このアイディアに子ども達はすっかりやる気満々なのですが、そこは本校の自慢(?)の2年生、そう簡単にはいきません。中山先生が「縦横斜めにたくさんそろいますが、最初の1回目だけ、大きくビンゴ！って言ってくださいね」と説明した途端に全員一斉に大きく「ビンゴ！」。おいおい、まだ1枚もカードを見せてないだろ？最初の1枚 7×5 を見せれば、「あ～、まだビンゴにならないよ！」。おいおい当たり前だよ、最低でも3枚必要だろ！6枚目のカードを見せる頃にはほぼ全員で「ビンゴ！」。おいおい最初の1回目だけって説明しただろ！まったく、鼓膜が破れそうな大声でした。お～い、2年生のみんな、しっかり九九を覚えてくれよ！保護者の皆様、なにとぞ御協力をお願いいたします。

くもわの公式？

5年生の算数は、一番の難関と言われている割合を勉強していました。「もとになる量」とか「比べられる量」とか、「100%」とか「10割」とか、そもそも問題文として書かれている日本語の理解からして難しいのです。で、この日の黒板には不思議な



マークが書かれていました。「鋼の錬金術師」に出てくる「錬成陣」とはほど遠いし、このひらがなは何なのでしょう？河又先生の説明を聞いていて納得しました。「く」は「比べられる量」、「も」は「もとになる量」、「わ」は「割合」を表すんだそうです。そして、「比べられる量」を求めるときは「く」を隠せば「も」×「わ」という式が現れ、「もとになる量」を求めるときは「も」を隠せば「く」／「わ」という式が現れるんだそうです。お見事！河又先生はいったいこれをどこで仕入れてきたのでしょうか？お～い、5年生のみんな、しっかり使ってくれよ！保護者の皆様、5年生の算数でも御協力を御願いできますでしょうか？

最後まで言わなくても大丈夫！

11月27日(月)の昼休みにストーブを出しました。5, 6年生が各教室に運搬・設置して、担任の先生が給油・点火確認をする計画です。私が5, 6年生の活躍を見に一階の教室に出向いてみると、廊下で教頭先生と興野先生が困っています。用務員の高村さんが役場に出向いているため、灯油の入ったポリタンクを教室まで運んでくれる人がいないんだそうです。そこへ(タイミング良く)関口先生が通りかかりました。教頭先生が(チャンスを逃さず)「関口先生、階段下倉庫に灯油があるんです。」と言っただけなのに、関口先生は(すかさず)「わかりました。運んできます。」と言って、無事に教室まで灯油が運ばれてきました。5, 6年生の活躍を見るつもりが、関口先生の活躍を見てしまいました。関口先生.....無言の圧力は無かったですよね？

ちなみに、各教室ともストーブと一緒に加湿器も設置されています。